

ジオ通信(第1回) 大地を見る目を磨こう！ ～めざせ！筑波山地域ジオパーク～

問 ジオパーク推進室

大地のことを楽しみながら学べる「ジオパーク」。「ジオ」は「地球・大地」という意味があり、ジオパークは「大地の公園」とも言われています。

現在、つくば市は周辺市(石岡市、笠間市、桜川市、土浦市、かすみがうら市)とともに日本ジオパーク認定を目指しています。

これから定期的に「ジオ通信」として、ジオに関する情報をお届けします。

ジオパークとは？

ジオパークは、科学的に貴重な、あるいは景観として美しい地形・地質などの「大地の遺産(geoheritage)」を保全するとともに、教育・研究・普及に活用し、さらにガイド付きツアーなどの推進(ジオツーリズム)を通じて地域の持続可能な発展に寄与することを目的としています。現在、日本には36地域のジオパーク(うち7地域は世界ジオパーク)があります。

ジオパークは、主として地形・地質を対象とするものですが、地形・地質はその場所の生態系に大きな影響を与え、また、そこで生活する人々の生活様式や文化にも影響します。このため、ジオパークでは、生態系や地域の生活・文化や歴史なども活動の対象としています。

(出典:環境省自然環境局国立公園課(2014)「未来へつづく大地のために」)
ジオパークについて興味のある方はホームページをご覧ください。

▷日本ジオパークについて⇒[「日本ジオパーク」](#)で検索

▷筑波山地域ジオパーク構想について⇒[「筑波山地域ジオパーク」](#)で検索

ジオパークの基本理念

保全



教育



大地の
遺産

ジオツーリズム

